

# 7350A

オペレーティングマニュアル  
Genelec 7350A  
Smart Active Subwoofer

# GENELEC®



# Genelec 7350A スマート・アクティブ・サブウーファー

## 概要

Genelec 7350A スマートアクティブサブウーファーは極めてコンパクトな低域モニターで、ステレオおよびマルチチャンネル時のGenelec 8320A アクティブモニターおよびステレオ時の8330Aの低域再生を拡張することを目的としています。7350A サブウーファーのSPL仕様が用途に合致する場合、8330Aを使用したマルチチャンネルのシステムにも使用できます。7350Aは、あらゆるアナログ/デジタルオーディオミキサーと共に汎用スマートサブウーファーソリューションとして使用できます。

## ドライバー

7350AにはGenelec独自のLSE™ (Laminar Spiral Enclosure™) パスレフキャビネットに格納された205 mm (8 インチ) の低周波ドライバーが内蔵されています。

## アンプ

Dクラスパワーアンプは極めて低いTHDとIM歪みの150Wを出力します。ドライバーの過負荷、アンプの熱過負荷、ドライバーの短絡の保護はアンプ回路に内蔵されています。

## インストール

サブウーファーには、メイン電源ケーブル x 1、GLMネットワークケーブル x 1、およびこのオペレーティングマニュアルが付属しています。サブウーファーに搬送中の損傷がないかどうか確認します。デバイスに記載されている電圧とご使用の地域の電源の電圧が一致していることを確認します。接続する前に、サブウーファーとモニターの電源がオフになっていることを確認します。接続が完了したら、サブウーファーとモニターの電源をオンにすることができます。

## オーディオ接続

オーディオ接続にはバランスXLRケーブルを使用します。7350Aには、アナログチャンネル用の入力/出力コネクタのペアが5つとアナログLFEチャンネル用の入力コネクタが1つあります。また、AES/EBUデジタルオーディオ信号用の入力/出力コネクタペアが1基あります。

信号ケーブルは、オーディオソースからXLR [IN] メスコネクタに接続します。次に、接続されたXLR [IN]のペアとなるXLR [OUT] オスコネクタから各モニターの入力コネクタに接続します。

[LFE IN] コネクタにLFEまたはマルチチャンネル

の[X.1] サウンドソースを接続します。

デジタルオーディオ入力 (DIGITAL IN) は、AES/EBUフォーマットのデジタルオーディオ信号を伝送するXLR (オス) コネクタに対応します。デジタルオーディオ信号は、次のモニターまたはサブウーファーにルーティングできます (DIGITAL OUT)。AES/EBUデジタルオーディオサブフレームAまたはBは、GLMソフトウェアを使用して選択します。サブフレーム選択肢A+Bのデフォルト設定は、両サブフレームにて伝送されるオーディオ信号を両方再生することを意味します。

## GLMネットワーク接続

GLMアダプターを使用して、システム内の全てのモニターとサブウーファーはGLM (Genelec Loudspeaker Manager) ソフトウェアを使用するコンピューターに接続します (図3参照)。RJ45コネクタのGLMネットワークケーブルは、各モニターとサブウーファーに付属しています。まず、GLMアダプターから1番目のモニターまたはサブウーファーに接続してコントロールネットワーク配線を開始します。システム内の全てのモニターとサブウーファーをデジチェーン接続します。各モニターとサブウーファーの接続には特別な順番はありません。最も配線しやすいコントロールネットワークルートを選択できます。

## 設定と自動キャリブレーション

7350A サブウーファーおよびスマートアクティブモニターは製品が取り付けられている室内音響に対する補正に極めてフレキシブルで、GLM Kitとソフトウェアを使用した自動設定に対応しています。7350A サブウーファーはGLM 2.0以降に対応しています。

GLMソフトウェアはGenelecウェブサイト ([www.genelec.jp/glm](http://www.genelec.jp/glm)) からダウンロードできます。GLM Kitはセットアップに必要です。GLM KitにはGLMアダプターとGLM測定マイクが含まれています。

GLMアダプターはコンピューターのUSBポートとGLMネットワークに接続されます。7350Aが唯一のスマートデバイスである場合、サブウーファーのみがGLMアダプターに接続されます。GLM測定マイクはリスニング位置に配置します。

GLMソフトウェアを実行し、GLMネットワーク上で認識されたモニターとサブウーファーおよび他のスマートデバイスを配置し、設定します。キャリブレーション後、コンピューターをそのまま接続した状態にしておき設定を維持するか、GLMソフトウェアを使用してサブウーファー本体に設定を保存します。

## ISS™ 自動スタート機能

ISS™ (Intelligent Signal Sensing™) は、スタンバイ時の電力消費を0.5W以下に抑えます。

工場出荷時の設定では、ISS機能はオフになっています。ISS機能は、GLMソフトウェアの [Group Preset (グループプリセット)] > [Store to Loudspeakers (スピーカーに保存)] > [ISS Sleep Delay (ISSスリープ時間設定)] のプルダウンメニューをクリックしてスタンバイ状態に入る時間の設定ができます。また、[ISS Sensitivity (ISS感度)] プルダウンメニューでは、検出できる入力信号の感度も調整できます。再生は入力信号が検出されると自動的に再開されます。再生が再開されるまでにわずかな遅延が生じます。

## 室内の配置

サブウーファーの配置は周波数特性とサウンドレベルに大きく影響します。低周波帯域では、室内音響への影響は強くなります。サブウーファーの位置をわずかに変更しただけで大きな違いが生まれます。配置は周波数特性、モニターとサブウーファーの間の位相の差異、サブウーファーのロールオフレートに影響します。

サブウーファーは、床の上に、部屋の中央線から若干ずらして、前方の壁際に配置します。サブウーファーのドライバーから前方の壁までの距離が0.6 m未満になるようにします。壁に近づけると、音響出力と最大サウンドレベルが上がります。壁からの距離が大きくなると、音響キャンセレーションが生じ、サブウーファーの出力が下がります。

サブウーファーを若干左または右に動かすと、周波数特性のフラットさが向上することがあります。サブウーファーを部屋の隅の近くに配置すると、低域がブーストされレベルが上がりますが、低域のサウンドイメージが非対称になることがあります。

できるだけフラットにするには、GLMを使用してサブウーファーの周波数特性を自動キャリブレーションします。ご使用のモニターがスマートモニターである場合、GLMは出力レベルやメインモニターとのクロスオーバー周波数に対する位相合わせなど自動調整にも対応します。

## 壁やその他の物体からの最小隙間

サブウーファーのドライバーを覆わないでください。ドライバーグリルの前に少なくとも10 cmの隙間を設けてください。

サブウーファーの下に厚みのあるカーペットを敷くと換気が妨げられる場合があります。

十分なパスレフシステムのサウンド出力を確保す

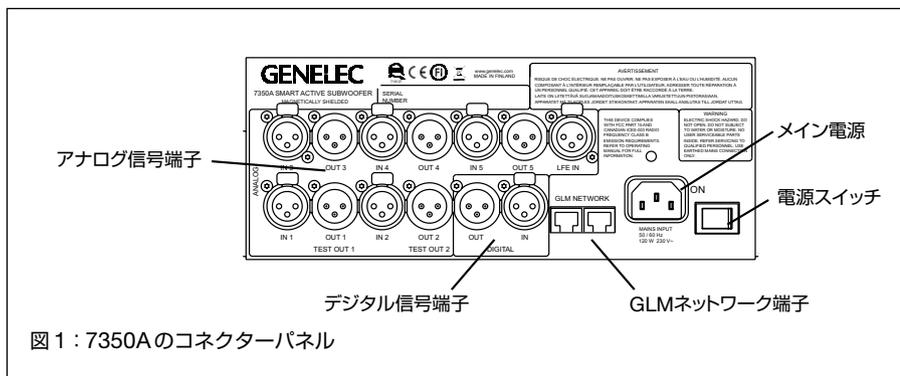


図 1：7350Aのコネクターパネル

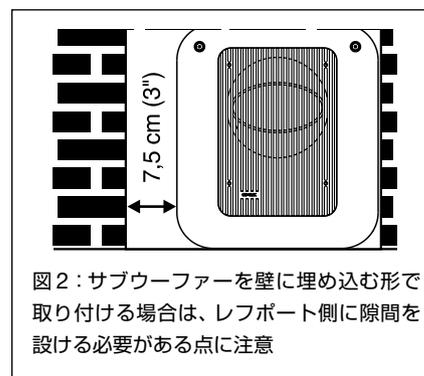


図 2：サブウーファーを壁に埋め込む形で取り付ける場合は、レポート側に隙間を設ける必要がある点に注意

るには、バスレフポート（コネクターパネルの反対側にあります）に少なくとも 7.5 cm の隙間が必要です。

### サブウーファーを壁に埋め込む形で取り付ける

サブウーファーが壁やキャビネット内部に埋め込む形で取り付けられている場合、アンプが十分に冷却され、バスレフポートからの空気の流りが妨げられないようにする必要があります。サブウーファーと凹部の間に少なくとも 7.5 cm の隙間を設けてください。サブウーファーはドライバーが部屋の方向を向いている状態で凹部の右側に取り付けます。こうすることでバスレフポートに十分な空間を設けることができます。凹部の高さと同行きは、サブウーファーが納まるぴったりな大きさになっていなければなりません。高さと同行きに隙間があると、不要な音響への影響が生じることがあります。

### 安全性についての検討事項

Genelec 7350A サブウーファーは国際安全基準に準拠するようデザインされていますが、安全な動作を確保し、ユニットを安全な動作条件下に保つため、以下の警告と注意を順守する必要があります。

- ・ 保守および修理を認定サービス以外の者が実施してはいけません。サブウーファーキャビネットまたは電子装置を解体してはいけません。
- ・ この製品を保護されたアースのない電源ケーブルおよび電源に接続して使用しないでください。人身傷害の原因となる場合があります。
- ・ サブウーファーを水または湿気に曝さないでください。花ビンなど液体で満たされた物体をサブウーファーの上や付近に置かないでください。
- ・ このサブウーファーは、聴覚に恒久的な損害を与える恐れがある 85dB SPL を上回る音圧レベルを生成できます。ご利用にご注意ください。
- ・ 十分な冷却を保つため、サブウーファーの背後および周囲で空気が対流している必要があります。

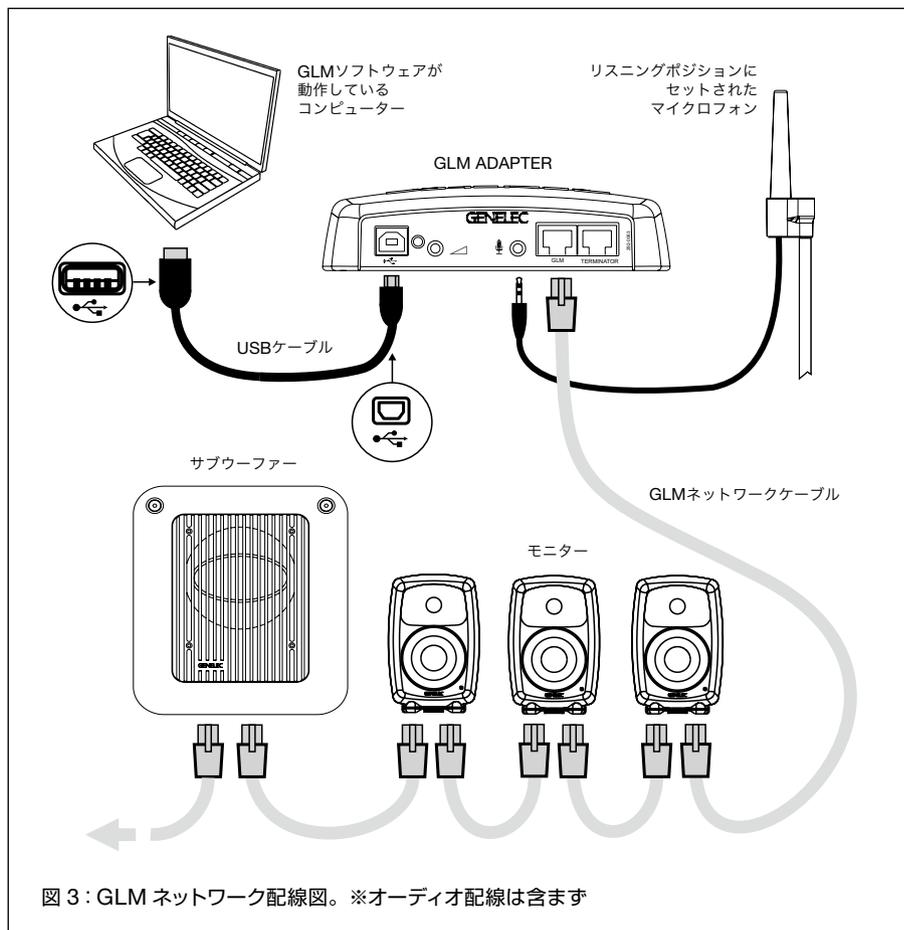


図 3：GLM ネットワーク配線図。＊オーディオ配線は含まず

す。サブウーファー周辺の空気の流れを遮らないようにしてください。

- ・ アンプは主電源コードがアンプまたは電源コンセントから取り外されていない場合は AC 電源から完全には接続解除されません。

### 警告！

このサブウーファーは、聴覚に恒久的な損害を与える恐れがある 85dB SPL を上回る音圧レベルを生成できます。ご利用にご注意ください。

### メンテナンス

サブウーファー内部にユーザー自身で点検修理が可能な部分はありません。ユニットの保守を認定サービス以外の者が実施してはいけません。

### 保証

この製品には、ユニットの性能に影響を与える製造上の過失や不具合に対して、2年の保証期間が付帯します。販売条件および保証条件について詳しくは販売店にお問い合わせください。

# 7350A 操作マニュアル

## システム仕様

	7350A
フリー空間周波数特性 ±3 dB -6 dB	25 - 150 Hz 22 - 160 Hz
30 ~ 85 Hzを平均した短期正弦波最大音圧出力、軸上、半空間、1 mで計測。	≥ 104 dB
残留ノイズレベル、半空間、軸上、1 m(A特性)	< 5 dB
高調波歪み、90 dB SPL、軸上、 1 m、半空間、30… 85 Hz 2次 3次	≤ 4 % ≤ 1 %
ドライバー、防磁シールド	205 mm (8 インチ)
質量	19 kg
外寸 高さ 幅 奥行き	410 mm 350 mm 319 mm

## シグナルプロセッシング

	7350A
サブソニックフィルター (18 dB/オクターブ)	20 Hz
LFEカットオフ周波数	150 Hz
ミッドバンド除去 >400 Hz	≥ 50 dB
GLMソフトウェアAutoCalツール パラメトリックノッチフィルター ディレイ調整 レベル調整	20 160 ms 60 dB

## FCC 規則への準拠

本製品は、FCC規則のパート15に準拠しています。動作は次の2条件に基づきます。

本機器が有害な妨害の原因とならないこと、および本機器が不要な動作の原因となる妨害を含むあらゆる妨害を受信すること。

注：本装置は、テストの結果FCC規則のパート15に従い、クラスBのデジタルデバイスの制限を遵守していることが確認されています。これらの制限は、住宅に設置するに当たり有害な妨害に対する適切な保護を提供することを目的としています。本装置は無線周波エネルギーを発生、使用、放射しており、指示に従わずに設置または使用された場合、無線通信への有害な妨害の原因となる場合があります。ただし、特定の場所に設置することによって妨害が発生しないという保証はありません。本装置がラジオやテレビの受信の有害な妨害の原因となる場合は(装置電源をオン・オフすることでご確認いただけます)、以下の対策を1つ以上行って妨害を正すことをおすすめします。

- 受信アンテナの向きまたは場所を変更する。
- 装置と受信機の距離をさらに空ける。
- 受信機が接続されているコンセントとは別のコンセントに装置を接続する。
- 取扱店または経験豊富なラジオ技術者またはテレビ技術者に相談する。

製造者によって明示的に許可されていない変更を行うと、装置を操作する権限が無効になる場合があります。

Genelecドキュメント D0116R002a-1 Copyright Genelec Oyおよび株式会社ジェネレックジャパン 2024年8月 全てのデータは予告なく変更する場合があります。

# GENELEC®

株式会社ジェネレックジャパン  
<本社>  
107-0052  
東京都港区赤坂二丁目22番21号  
www.genelec.jp/customer-service/

修理お問い合わせ先  
<ジェネレックサービスセンター>  
電話番号：050-3786-1236  
平日 10:00 ~ 18:00  
(夏季/年末年始休業を除く)

修理のご依頼は、お電話または修理依頼フォームがご利用いただけます。修理依頼フォームは、Webサイトのカスタマーサービス内にご用意しております。  
www.genelec.jp/customer-service/

## アンプセクション

	7350A
アンプ瞬間出力 (長時間出力はドライバーユニット保護回路により制限)	150 W
アンプシステムTHD(通常出力時)	≤ 0.005%
電圧	100 V
消費電力(平均) スタンバイ(ISS有効) 待機 フル出力	< 0.5 W 8.5 W 150 W

## 接続

アナログ	7350A
入力/出力コネクター、XLRメス/オス LFE入力コネクター、XLRメス	5 / 5 1
ピン配列 ピン1 ピン2 ピン3	gnd +(反転なし) -(反転)
入力インピーダンス	10 kΩ、バランス
入力レベル(100 dB SPL出力 @ 1 m)	-6 dBu (GLMソフトウェア内で変更可能)
出力ゲイン	0 dB

出力コネクターは、ペアとなる入力コネクターに入った信号をフィルター処理せずコピーして伝送します。

デジタル	7350A
入力/出力コネクター、XLRメス/オス	1 / 1
信号フォーマット	AES/EBUシングルワイヤ
デジタルオーディオ ワード長 サンプルレート	16 - 24 bits 32 - 192 kHz

GLMネットワーク	7350A
入力/出力 RJ45	1 / 1

www.genelec.jp